

ゆきさぎ

YUKIUSAGI

岩谷^{いわや}医院会報 第9号(新春号) 平成17年1月1日

岩谷医院

院長 岩谷 文夫 (循環器専門医、心臓血管外科専門医、健康スポーツ医)

副院長 岩谷 恭子 (循環器専門医、内科認定医、産業医)

謹賀新年



新年あけましておめでとうございます。皆様お元気に平成十七年の新年を迎えられたことと思います。岩谷医院は三回目のお正月です。昨年は良い年でしたか？岩谷医院の昨年の元日は休日当番日でした。お正月からの病院行きは皆さん避けるでしょうというスタッフの予想は見事にはずれ、実に七十四名の方が来院されました。その三分の一がインフルエンザの方でした。院内はてんてこ舞いの忙しさと、終了したのは夜九時半。全員ぐったりでしたが、まさに貴重な経験をさせていただきました。今年のはんびりしたお正月が迎えられそうです。今年はどうなるのでしょうか？混合診療はどうなるのでしょうか？それがどのようなシステムなのか、今の医療制度の何が問題で、それに対してどのような解決策があり、混合診療がどのようにかわるのかなど、国民に対して具体的に分かりやすい説明がないまま物事を押し切る強硬な手法は納得がいきませんね。



医院の家族参観日を

院長より一言

♪参観日、♪参観日、住まいの参観日♪、これはテレビのコマーシャルですが、皆さん、医院の参観日は考えたことがありますか？高齢化社会となり、皆さんお年のわりにはお元気に通院されていますが、それなりに悩みもかかえ、ご家族との対話が必要な方もいらっしゃると思います。対話のある家庭は明るい家庭です。ご自分のご家族がどのような病気で、どのような医院に、そしてどんな先生およびスタッフに接しているのかわ存知ですか？通院されている方の中には、必ず身内の方が付き添う場合もありますが、むしろ少数です。私の大学病院勤務時代は心臓血管外科ということもありましたが、手術前後の説明や、病室回診などでご家族の方とコミュニケーションをとることが出来ました。医院の場合にはなかなかその機会がありません。学校などでの父親参観、母親参観と同じように、年に一度ぐらいは医院の参観を考えた方がいいでしょうか？岩谷医院は毎日参観日ですので、いつでもお出で下さい。

半世紀と四半世紀

伊達郡梁川町 渡 辺 由起子

院長先生と私達親子の付き合いも、早いもので二十六年になろうとしています。過ぎてみれば早かった。そんな気がしますが、今は亡き両親と私達夫婦の期待の星として生まれた長男健が、まさか先天性の心臓病をもってこの世に生を受けるとは、正直言って思っても寄らない事でした。何不自由なく一人娘として育て来た私、長女を出産した時は、健康で何の苦労もせず(しいて言えば夜泣きぐらいで)過ぎて来て第二子として安産で生まれて来た息子なのに、なぜ?って思いました。でもそんな親の心配、苦勞をよそに、私達夫婦の期待に添うように、身体は小さいながらも、それなりに、すくすくと成長してくれました。正直言ってランドセルは、背おえるのだろうか?そこまで生存できるのだろうか?という不安は、ありました。三才近くに、肺動脈絞扼術を岩谷先生に執刀していただき、手術成功!!現在に至っております。息子も二十五才四半世紀過ぎました。私も五十才半世紀、人生折り返し地点です。いろいろ涙した事もありましたが、思いやりのある頼れる男性に、成長した息子、今は逆に息子に甘えている私です。

岩谷先生から安心を戴いて

匿名希望 七十四才

新年明けましておめでとうございます。さて、私にとりまして平成十七年の新年を迎えるということは極めて喜ばしく感無量で一杯であります、と申しますのは、昭和六十年に脳梗塞発病、平成九年に一回目の心筋梗塞に罹り、平成十四年には冠動脈一本閉塞というハンデーを背負いながら岩谷先生から安心を戴いたお陰で生きる力が沸き上がり、新年を迎えられたからです。あの時、大病院の検査室で冠動脈が一本完全閉塞し、残る血管にも狭窄ありと説明があったときは生活への不安が一度に迫り免疫力低下の懸念もあってそれからの日々は何時心臓が止まるか薄氷を踏む思いで過ごして来ました。大病院では長年治療を受けているわけですが待機している患者が多く、先生に長々とお話を聞ける雰囲気ではなく病状把握まではできませんでした。独り「これまでの治療と節制を続けて来たのに何故だろう。」と自信をなくしておりました。平成十四年十一月、親交のあった獣医師のOさんに事情をお話ししたところ岩谷病院の紹介を受けたのです。早速岩谷先生に病歴などを持参細部にわたる診察、後日種々の検査データを基に懇切丁寧に時間を掛けた説明のうえ私の愚問にも耳も傾けられ、それは私にも十分納得できるものでした。つまり、私の心臓は二本の冠動脈から閉塞部の心筋へ細血管パイパスが出来機能している、先生から「パイパスが出来ているのはラッキーで無理のない生活ならOK。」と診断されたときは大病院での結果と併せ本当に安心いたしました。あれから二年、岩谷病院で定期的な受診、指導を得ながら減塩減糖・低カロリーの食事と毎朝夕一時間の散歩を欠かさず行っており、最近の診断では血糖値一四

mg、HbA1C五・二、脈拍数五五、体重三kg減と改善がみられ、安心感もあって多少の労働にも耐えられ、断念していたグリーブ旅行にも参加することができて、この分ではまだまだ大丈夫と生きる力が湧いて来りました。

今後は、先生から特に指摘のあった血糖(循環器疾患のキーポイント)脈拍(脈拍数の乱れは狭窄の進行、減少は危険)に留意して病院での経過を大病院に繋ぎながら治療と節制に努め、長生きしたいと思っています。

短歌、俳句、川柳



(短歌)

● 坂大りんさん(福島市佐倉下) ●

思い切り 打てば白球 秋空に

優勝の盃 甘きぶどうを

● 院長のゴルフ優勝を祝って

まな板の 鯉と言いいしき 君なれど

鱗光れり 夢追い人よ

● すすずらんの会の会場にて詠む

屠蘇祝う 浄楽園の 夫婦岩

● 浄楽園散歩はとても気持ち落ち着きます(院長)

ゆきうさぎ 冬ソナ聞いて 恋ごころ

● 幸医院BGMを聞いて詠む

● 小丸孝也さん(福島市蓬萊町) ●

さりげなく 一句ひねって 告白す

人生の 余白彩る 句作かな

一引いて 白寿となりて 九九(くく)となり

ライブドア 堅い扉を こじ開けし

戻れるか ルビコンの河 小泉さん

骨太の 白眉の若者 世に出でよ

川と河 水の流れに 二つあり

大いなる 大河の一滴 わが人生

ふざけるな ツメた結果が にせ遺骨

ほのぼのと ぬくもり伝う ゆきうさぎ

● 奥様の作

穏やかな 日々もありしや 除夜の鐘

生気充つ 大根の葉の 青さかな

● 坂大さん、小丸さん、有難うございました。坂大さんのいつもながらの感性の鋭さには驚きです。小丸さんは最近、俳句の世界にも足を踏み入れたようです。作品を期待しています。奥様もよろしくね。



新年おめでとうございます

それぞれのご家庭で、元旦の神様をお迎えの事と思います。同時に、今年の願い、目標も合わせ立てられた事でしょう。その目標も願いも、健康であればこそ叶うものです。自分の健康は自分で創りましょう。

健康レベルは、健康、半健康ゾーン、検査では異常は見られないが、疲れ易い、やる気がない。又、自覚症状が出て例えば、頭痛、胸が痛い等をさし、病気ゾーン、これは、入院、手術を要し、専門医の診察をおおねばなりません。

健康な体の源は、快食、快眠、快便であり、食が血となり、血が細胞となります。体は約60兆個の細胞から出来ており、すべての細胞は食事により創られ、それらが連なり、血や筋肉、骨となって私達の体が出来ております。何をどの様なバランスで食べるかで、強く正常な細胞になるか、弱くて異常な細胞になるかに分かります。病気にかからない為の健康づくりをする事が大切です。今年こそ早期診断による、健康づくりに努め、健康長寿をめざしましょう。

当店では、血をきれいにしてくれる食物やその他の健康食品も取り揃えています。

今年も明るく、楽しく、元気よい日が一日でも多くあります様願っております。

当薬局スタッフ一同、かかりつけ薬局として精一杯お役に立てる様努めて参ります。

今年も宜しく願い申し上げます。(小島 衛)

医院便り

岩谷医院スタッフとともに 摺上川ダム見学

11月11日(日)の休診日に岩谷医院スタッフと小島薬局の小島さんご夫妻と共に摺上川ダム見学に行ってきました。前号『ゆきうさぎ8号』にご投稿いただいたダム工事事務所長の三浦さんの歓迎を受け、一通りの説明を受けましたが、まずそのスケールの大きさに驚きました。ダムはまさに雄大な湖のごとくで、折からの紅葉の鮮やかさも加わり、その眺めは絵葉書を見ているようでした。ダムの底は108mの深さということでしたが、エレベーターと階段を使って最深部まで行くことが出来、私たちも案内していただきました。まだ試験湛水中ということでしたが福島市および周辺地域の水道、発電、灌漑用水、工業用水そして洪水防止などがダムの主な役割とお聞きました。その日が一日も早く来ることを念じながらダムを後にしました。



患者さんの紹介コーナー



高木 将寛さん
〔福島市町庭坂〕

小学4年のときに心臓の手術を受けた高木君。ひょっこり医院に来てくれました。いまや立派な社会人、測量の仕事で頑張っています。



上屋 英希さん
〔福島市瀬上町〕

またまた登場の土屋さん。今回は太極拳指導員の認定書をお持ちになりました。まさに趣味に生きる日々だそうです。



佐藤 久子さん
〔福島市矢剣町〕

趣味で始められたマジック。今やいろいろな所からお呼びがかかり、大忙しのようです。最近のご家族の協力もあり、出し物も大掛かりのようです。

『私も岩谷医院のスタッフになりました』

縁あって、この10月より勤務する事になりました。1月からは週に1回程の勤務になりますが、今回簡単に自己紹介をさせていただきます。

私は、福島市在住の家族4人（主人と子ども2人（女の子））で、毎日にぎやかに暮らしています。趣味はこれとってないんですが、しいて言えば食べる事ですかね（笑）。おいしいものをたくさん食べるのは大好きです。

岩谷医院の第一印象は“とてもきれい!!”です。隅々まできれいになっていて、心地いいですね。

私は何よりも好きなのは、時間がゆっくり流れている医院の雰囲気です。先生と患者さんのゆっくりした会話の中に笑顔がみられて、今まで私の経験した病院では、みられなかった光景です。いいですね。この感じ、ついつい一緒に笑ってしまうのですが、とても楽しく仕事できて、ウキウキしています。仕事って何でも大変ですが、大変な中に楽しさを感じられると疲れも感じなくなってしまうのが不思議です。そんな感じにさせてくれる岩谷医院ですね。ちょっと誉めすぎでしょうか??でも院長先生、副院長先生をはじめ、職員の皆さんとても楽しい人で、安心しています。

今後がんばって、楽しく仕事をしたいと思っています。

どうぞ、よろしくお願ひ致します。

（看護師 三浦教子）



『昨年は暑い夏、そして地震と被害の多さに心痛んだ一年でした』

昨年は暑い夏、そして地震と被害の多さに心痛んだ一年でした。どうか新潟地震の被災者の方々の一日でも早い復興を祈って止みません。

そこで最近のある新聞記事で初めて目にした、気になったことばがありました。（廃用性症候群）です、お医者さんは良くご存知ですが、意味は生活不活発病とも呼ばれ、体を動かさないため筋肉の衰えだけでなく、内臓など全身の機能が低下していく病気。症状が進むとさらに運動量の減少を招き症状が進み歩行不能、寝たきりになる事もある、と。

新潟の被災者は、避難所生活の長期化により運動量の減少により全身の機能が低下する（廃用性症候群）に似た症状が出始めており、警戒を呼びかけているとの事。

この記事を読み私は自分に置き換えました。今まで定年になったらゆったりポーとして過ごせたらどんなにすばらしい事か?と心のどこかで夢見ていたのですが、考え方を替えました。自分の頭で、足で、手で、口で、何でも自分で出来たら最高!と。そのためには、少しでも多く趣味を持ち、多くの人達と会話し、動く事をしよう。ちなみに現在の私の趣味は我が家の猫の顔ほどの庭の草木、特に実の成る木の手入れと、その花の写真を撮ることです。ざっと紹介すると、梅、なつめ、ゆず、みかん、すだち、きんかん、柿、かりん、まるめろ、びわ、ぐみ、ブルーベリー、サンシュウ、木苺、桑、くちなし、等でみんな小さい木々?で可憐な花と実達です。

（看護師 村上千恵子）

医
院
ス
タ
フ
よ
り

医院からのお知らせ

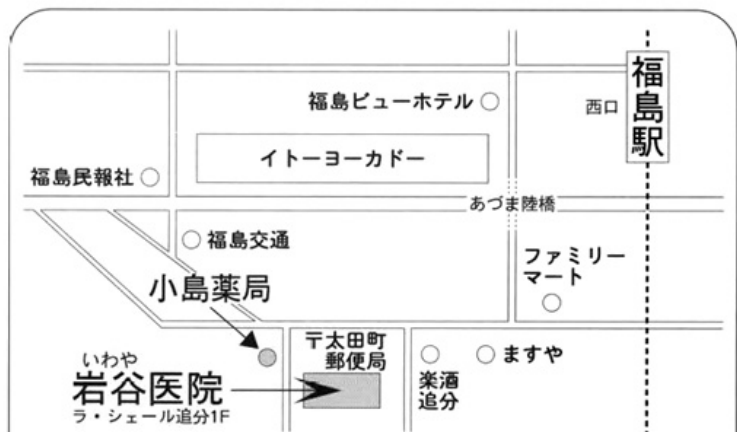


診療について：副院長は火曜、水曜の午前中のみ大原総合病院での診療になります。それ以外の日は、院長、副院長の二人体制になりますので、以前より待ち時間は少なくなっています。また診察の順番は患者さんの状態により変わることがあります。ご了承下さい。

待合室：冬季は基本的には蓄熱暖房にて快適な環境をと考えています。

駐車場：医院横の7台の駐車スペースの他に小島薬局の駐車場も空いている場合には利用可能ですので受付にその旨お知らせ下さい。雪や雨のときは駐車場および玄関前はすべりやすくなっていますのでお気をつけ下さい。玄関にはタオルを用意しておきますのでご自由にお使い下さい。

保険証：保険証は事務処理上毎月必要となりますので、その月の初回来院時には必ず受付に提出してください。



【福島駅西口より 徒歩7分】 〒960-8068 福島市太田町17-27
ラ・シェール追分1F
でんわ 024-528-7770/FAX 024-528-7780

★ 診療時間 ★

平日（木曜日を除く）は 午前9時～12時 午後2時～5時30分
土曜日は 午前9時～午後2時（昼休みなしで診療いたします）
休診日は 日曜日・祝祭日・木曜日

★ 診療項目 ★

内科疾患・循環器疾患・動静脈疾患・先天性心疾患・人工弁管理・ペースメーカー管理・人工血管管理・基本検診 など